

ちばだい

プレス

千葉大学広報誌



CHIBA
UNIVERSITY



CAMPUS LIFE 2016
千葉大生の1日と施設紹介

特集

特集

国際教養学部
第1期生 座談会

千葉大学OBOGインタビュー

vol. 36
2016 JUNE



一次救命処置を学ぶ「C-TAT」に所属

BLS(ベーシック・ライフ・サポート=一次救命処置)資格の普及を通じて救命に関する知識や技術を高める「C-TAT」というサークルに参加しています。CPR(心肺蘇生)の技術を競う全国大会では5位を獲得しました。現在メンバー募集中です。



自習室で国家試験の準備

医学部と千葉大学病院には学生用の自習室がいくつか用意されていて、授業や実習のスキマ時間にいつでも自習をすることができます。国家試験に向けて、勉強しています。



趣味はドライブで寺社巡り

もともと日本のものが好きで、和小物を集めたり、ときには着物を着たりしています。アルバイトも、割烹料理店や巫女など、和装でできるものを選んでます。最近ハマっているのは寺社の御朱印集め。ドライブも好きなので、家族や友人たちといろいろなお寺や神社を巡っています。



Message

大学に入ったら、なるべく早いうちに他学部の友だちをつくることをお勧めします。行き詰まったときに他学部の友だちに相談すると、違う視点から助言がもらえ、視野が広がります。また、交流を広げたり、多様な経験を積んだりするという意味で、アルバイトやサークル活動もしておくといいですね。千葉大学の先生は、一を聞くと十を教えてください。やる気があれば応えてくれますので、知りたいことはどんどん質問しましょう。

亥鼻 キャンパス

宮原 杏奈さん

医学部 医学科 5年
私立東邦大学付属東邦高等学校 出身

子どもの頃から気管支喘息を持ち、アレルギー体質でもあった宮原さんは、当時お世話になった医師に憧れて医学の道を志しました。千葉大学は、附属病院があるだけでなく、医学部・薬学部・看護学部の連携が取られ、実践的に学ぶことができているそうです。5年生となった現在は、病院内での実習に日々取り組むとともに、医師免許を取得するための国家試験に向けた準備を進めています。

いつも持ち歩く必携アイテム

病院内ではさまざまな場所から場所へと歩き回るので、学生全員に連絡用のPHSが支給されています。回診ノートを常に持ち歩き、日々の回診で気づいたことをメモしています。



1日のスケジュール

- ① 6:00 起床
- 8:00 実習
- ① 12:00 昼休み、ランチ
- 13:00 実習
- 18:00 アルバイト(飲食)
- 23:00 帰宅
- ① 0:30 就寝

西千葉、亥鼻、松戸の3キャンパスでの学生生活の様子を3人の千葉大生に密着して紹介。それぞれの講義、ランチ、休憩時間の過ごし方などをご覧ください。また、西千葉キャンパスにある学生生活を応援する、さまざまな施設も紹介します。

1日のスケジュール

- ① 7:00 起床
- 10:30 講義
- ① 12:00 昼休み、ランチ
- 12:50 講義
- 16:00 友人と散歩
- 18:00 アルバイト(家庭教師)
- 22:30 帰宅
- 23:00 勉強、自由時間
- ① 2:30 就寝



のんびり過ごせる スペースもあちこちに

教育学部棟5号館には、教室の外にも広いオープンスペースがあり、自由に使うことができます。デッサンをしたり、本を読んだり、学生が思い思いに過ごします。

プロジェクトに参加して幅広い活動を経験

千葉アートネットワーク・プロジェクト(WICAN)は、教育学部芸術学研究室と千葉大学の学部横断型授業「文化をつくる」(展示をつくる)の受講生が、千葉市美術館、アーティスト、まちづくりNPOなどと形成する組織。主宰の神野真吾先生やメンバーとギャラリーでの展示や冊子の編集に関わり、貴重な経験をしました。



写真の世界にも 目覚めました!

写真はスマートフォンで撮るだけでしたが、展示作品をつくるため、デジタル一眼レフカメラを初めて手にし、視点や見方を変えて撮影することを学びました。散歩をしながら、季節ごとに咲く花などの写真を撮っています。



Message

西千葉キャンパスは緑が多く、広々としているのが魅力です。図書館やアカデミックリンクセンターなどの施設も揃っていますし、空いている教室でゆっくり過ごすこともできます。友だちと一緒にしゃべりしたり、ひとりで勉強したりする場所がたくさんあって、選べるのがいいですね。学内にはいろいろな学部学科の人がいて、話してみると視野が広がります。教育学部は学科の人数が少なめで、先生と話せる機会が多いのも良いと思います。

西千葉 キャンパス

山口 翠さん

教育学部 中学校美術科 3年
千葉県立千葉東高等学校 出身



仲間や先輩と会える居心地のよい研究室

昼休みや空き時間は、芸術学研究室で過ごすことが多いです。サイフォンを使って、大好きなコーヒーを淹れることもあります。



1階の掲示板も忘れずにチェック!

講義の教室変更や休講などの情報、試験やレポートなどについてはサイトで確認できますが、掲示板も要チェック。実習や研修、介護等体験の情報など、大切なことが掲示されています。

友だちのサークルイベントで モデルに挑戦!

縫製サークルとD Jサークルが協力してファッションイベントを開催した際にモデルとして参加しました。私自身はサークルに所属していませんが、友だちの誘いで思い切った挑戦することに。イベントを通じて多くの友だちができました。



先生との距離が近い 少人数制の講義

専門科目の講義は少人数で、きめ細かな指導が受けられます。「美術科教材研究Ⅳ」では、外部からアーティストの方を招いてワークショップを行い、ディスカッションをした後、指導案をつくります。



2
総合学生
支援センター



5団体「ふれあいの環」

〈開室時間〉平日10:00~16:00
学生が学生を支援する活動を行う5団体により組織されています。学生と学生、学生と教職員が相互にふれあい、イベントなどを通じて総合的な人間力をゆっくりと身につけていくための場所です。



English House

〈開室時間〉平日9:00~17:00
英語でコミュニケーションができるスペースです。定期的にイベントもあるので気軽に参加してみませんか。外国人講師との個別レッスンも行っています。

保健管理棟

〈開室時間〉平日8:30~17:15
学生、職員などの健康診断を行っているほか、応急処置、病気の初期治療などを行っています。キャンパス内で体調を崩した際は、休憩もできます。



3
総合安全衛生
管理機構



メンタルヘルス相談室

〈開室時間〉平日9:30~17:00(予約制)
気分が落ち込んで何もする気になれない等、メンタルヘルスに関する相談ができます。
〈総合安全衛生管理機構ウェブサイト〉
<http://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/>

就職支援課

〈窓口対応時間〉平日8:30~17:15
企業からの求人票や就職活動に関するさまざまな資料を閲覧できるほか、就職ガイダンスや合同企業説明会の情報も掲示しています。



1
学生支援
プラザ



学生支援課

〈窓口対応時間〉平日8:30~17:15
サークル活動や課外活動の支援を行っているほか、奨学金などの相談や手続きの窓口です。



学生相談室

〈開室時間〉平日9:00~17:00
日常生活から恋愛、学習、将来の悩みまで何でも相談できます。小さな悩みごとでも気軽に相談してみましょう。

4
海外留学支援室

〈開室時間〉
平日9:00~17:00
〈相談時間〉
平日10:00~16:00



学内留学プログラムの紹介、一般的な留学の相談、長期留学(派遣留学プログラム)の支援などを行っています。留学関連の資料等も閲覧できます。留学を考えたなら、まずは気軽に相談してみてください。留学の相談は、支援室ウェブサイトから予約も可能です。
〈海外留学支援室ウェブサイト〉<http://cie.chiba-u.ac.jp/sase/>

私たちが学生生活を
サポートします
西千葉キャンパス
施設紹介



1日のスケジュール

- 7:00 起床
- 8:50 講義
- 12:00 昼休み、ランチ
- 12:30 移動(柏の葉キャンパスへ)
- 13:30 実習
- 16:00 移動(西千葉キャンパスへ)
- 18:00 部活(セパタクロー部)
- 23:00 帰宅、勉強
- 1:00 就寝



環境保全についての
実践的な講義

現在いちばん関心を持っている講義は「自然環境保全学」。この日は日本の国立公園での環境保全について学びました。具体的な事例を知ることができて、実践的な知識が身につきます。



フィールドワークや実習も充実

座学だけでなく、フィールドワークも行います。最近の例では、ピオトープを併設したショッピング施設を見学しました。また、週に一度の柏の葉キャンパスでの実習では、植物工場を見学したり、梨の受粉を行ったりと、さまざまな実習ができます。

松戸
キャンパス

石川 直樹さん

園芸学部 緑地環境学科 2年
茨城県立土浦第一高等学校 出身

茨城県出身の石川さんは、子どもの頃から里山や森と親しんできました。人と自然の共生に関心を持ち、高校時代には、大学で緑地環境づくりについて学びたいという想いを抱いていたそうです。卒業したら自然に関わる仕事に就きたいと考えている石川さんにとって、環境づくりの基礎から具体的な事例まで学べるのが千葉大学園芸学部の魅力だと話します。



空き時間には緑の中を散歩

子供の頃から自然に親しんでいたため、緑に囲まれた松戸キャンパスの環境はお気に入りです。空き時間があるとキャンパス内を散歩しています。

学生ホールは
自習に最適

試験勉強や空き時間の自習は松戸キャンパスの図書館や学生ホールを利用します。学生ホールは広い窓から外の風景が見えるのがお気に入りです。ホワイトボードが設置されているので、友人とディスカッションしながらの勉強も可能です。



食堂でのランチは丼物の大盛り!

学食で食べる時は、同じ講義を取っている友だちと一緒に。しっかり食べたい派なので、たいていは丼物の大盛りです。教室から食堂まで、友だちと会話しながら歩くのもいいリフレッシュになります。



セパタクロー部に熱中! 目標は全国優勝

高校ではサッカーをやっていましたが、大学に入ってセパタクローの魅力にハマリ、いまはかなりの熱心にセパタクローに取り組んでいます。発祥の東南アジアで、本場のセパタクローに触れてみたいという希望も持っています。ちなみに、千葉大学のセパタクロー部は、日本代表選手を輩出したり、全国大会で準優勝したりと、かなりの強豪。次の目標は全国優勝です。



セパタクローとは? 東南アジア発祥の球技。藤製のボールを頭と足で相手コートに返し合うため「足のバレーボール」と呼ばれ、ネット際のダイナミックな攻防が魅力です。



寮の友だちと
ワイワイ食事することも

松戸キャンパスの「浩気寮」に住んでいます。通学時間が短くて済むのは助かります。飲食のアルバイトで卵料理が得意なので、寮の友だちにオムライスを振る舞うことも。寮生活もなかなか快適でお勧めですよ。

Message

大学に入ったら、何かひとつ打ち込めるものをつくりたいと思います。千葉大学はサークルも盛んですし、海外留学制度も充実しているので、選択肢には困りません。また、多様な学部の学生と交流できるのは、総合大学ならではの強みだと言えます。さまざまな価値観を持った人と知り合うことは刺激にもなりますし、見聞を広げることにもつながるはずです。



国際教養学部は、世界が抱える課題を、日本の文化、ビジネス、技術によって解決する「日本発の新国際人」の育成を目標に掲げ、文系と理系を混合させた新しい形の学部。入学定員90名に対し、教員が46名の少人数教育で、学生の状況に合わせた丁寧な教育を実現。SULA(スーラ)と呼ばれる国際教養学部の学務系専門職が設置されているのも特徴。



荒井 日本人は沈黙で伝えようとする部分が多く、そこが外国人には理解しにくい

秋田谷 ゼミの中では司会者がいて、当てられたら発表するという感じですが、すぐに的確な対応ができる人が多くて感心しています。



SULAとは？
簡単に言えば、学生の希望に応じて、履修や学生生活に関する相談に対応するほか、海外留学の計画支援や卒業後のキャリアプランに関する情報提供などを、教員や関係部署と連携しながら行う職員です。国際教養学部では、7月より専用ルームを開設し、SULAオフィスアワーをおきます。またウェブからの相談予約受付も開始予定です。

数馬 研人さん
<SULA>
国際教養学部の学務系専門職。工学部の人事担当などを経験した後、国際教養学部の準備室に所属し、学部新設の準備にも携わった。

塚田 かおりさん
<SULA>
国際教養学部の学務系専門職。米国の大学を卒業。留学生課、文学部の学務担当などを経て、多くの学生、保護者、先生方と関わってきた。



特集 国際教養学部 第1期生 座談会

平成28年春、グローバル人材を育成する学部として誕生した国際教養学部。第1期生の中から4人の皆さんと、SULA(国際教養学部の学務系専門職)の2人にお集まりいただき、新学部の雰囲気や様子、在学中に挑戦してみたいこと、将来の夢などについて話してもらいました。



秋田谷 蘭さん
北海道苫小牧高等学校出身。国際系の仕事に就きたいと考えていて、新設の学部で1期生になれることに魅力を感じて志望。

荒井 響輔さん
東京都立八王子東高等学校出身。視野が狭まらないよう、いろいろな世界を見てみたいとの思いから志望。将来は消防士を目指している。

藤原 真悠さん
千葉県立船橋東高等学校出身。自分に合いそうな学部だと感じ、受験を決意。積極的に海外留学やボランティアの情報収集をしている。

渡邊 敦也さん
芝浦工業大学柏中学高等学校出身。学びや交流を広げ、新しいことに挑戦できそうだと考えて志望。将来の夢は世界を股にかけるジャーナリスト。

答えられるよう、新聞などにも目を通すようにしています。語学力も心配ですね。
数馬(S) 英語が苦手でも大丈夫。相手も理解しようとしてくれますし、コミュニケーションを取っていくことで、自然と語学力が身につくと思いますよ。

ですよね。国際人は言葉で、あるいは言葉ではなくても、相手に察してもらうのではなく、自分の気持ちを伝えようと前に出られる人だと思います。
藤原 小学生の頃から授業中に積極的に発言するような人はあまりいなくて、それは日本人のよくないところだと思います。尻込みせずに行くべきですね。

荒井 海外へはただ語学を学びに行くのではなく、自分の力でボランティアなどをして、空手部の活動にも力を入れて

渡邊 1年目は教養を身につけて、2年か3年になったら留学も経験したいです。世界史や世界の情勢に興味があるので、現地に行かなければわからないことを肌で感じて、何らかの形で日本人たちに伝えたいと考えています。

藤原 留学のプログラムがたくさんあるので、グローバルインターシップやボランティアなど目標を持って留学しようと思っています。イングリッシュハウスでお昼を食べたり、留学生の支援団体に交流を深めたりと、まずは国内でできることをやって、コミュニケーション能力や知識を身につけてから具体的に考えていきたいですね。

渡邊 いろいろな地方出身の人がいて、それぞれの地元の話を聞いたりするのが楽しいです。
荒井 フレンドリーで気さくな人が多いですね。休み時間になると「お昼一緒に行くよ」と誘ってくれたりして、友人の輪が広がっています。

秋田谷 90人みんなで授業を受ける共通科目があるので、思ったよりも学部内の仲間と一緒に行動する機会があります。何度か顔を合わせるうちに挨拶をしたり、自然に話せる人が増えてきました。



秋田谷 短期や長期の留学を何回かして、いろいろな国で学んでみたいです。フランス語の勉強も始めました。途上国支援にも興味があり、来年くらいにグローバルボランティアで井戸掘りなどに参加してみたいです。
塚田(SULA)※以下(S) 皆さん、やはり海外での活動を希望していますね。何か準備はしていますか？
荒井 自炊ができるようになることと、日本の文化を知ることですね。空手は海外の人に演武などが披露できるレベルになりたいです。

▶ 答えはページ下の「もっと知りたい千葉大学」へ

周産母子センターが いよいよ始動

INFORMATION



千葉県内で数少ない診断技術や治療の高度化に対応した施設としてスタート

千葉大病院では、「周産母子センター」が重症なお母さんと胎児を管理し新生児を受け入れることができるよう、診断技術や治療の高度化に対応した施設としてスタートしました。周産期母性科、小児科、小児外科を中心に、大病院ならではの高度な医療を提供するとともに、周産期医療の研究や医師などの育成を進め、周産期医療の進歩に貢献してまいります。

第19回東アジア看護学研究者フォーラム(EAFONS)を 幕張メッセで開催

EVENT



講演者・主催者等による記念撮影

千葉大学が開催大学となり、3月14日、15日の2日間、東アジア看護学研究者フォーラム(EAFONS)を幕張メッセ国際会議場で開催しました。EAFONS加盟7か国を含め、12か国から1,002人の看護学研究者が参加し、基調講演、プレナリーセッション、口演発表、セミナー等多様なプログラムが準備され、大学院教育に関する教育研究者、大学院生等の参加者が活発に討議・情報交換を行いました。

千葉大学環境ISO学生委員会が第25回地球環境大賞の「文部科学大臣賞」を受賞

AWARD



授賞式に出席した倉阪教授(左端)と環境ISO学生委員会のメンバー

NPO法人千葉大学環境ISO学生委員会は、温暖化の防止や環境保全活動に積極的に取り組む企業や団体を表彰する「第25回地球環境大賞」において「文部科学大臣賞」を受賞しました。4月18日に明治記念館で開かれた授賞式には、秋篠宮ご夫妻ご臨席のもと、徳久学長、環境管理責任者の倉阪秀史教授とともに17人の学生が出席し、代表して、石口純輝さん(法政経学部3年)が表彰状とトロフィーを受け取りました。

千葉大学のコミュニケーションマークを一新

INFORMATION



新しいコミュニケーションマーク(上)と、コンセプトのイメージ(下)

千葉大学は、2016年4月、世界最高水準の教育研究を行う大学として改革をすすめていく意思を象徴する、新たなコミュニケーションマークを施行しました。大学カラーのガーンネットを基調とし、学生、教員及び職員間のコミュニケーションや、これまで蓄積してきた知識と新しい研究間のコミュニケーションを原動力としています。本学の「Global, Research, Innovation, Branding, Synergy」の実現を目指します。

米国カリフォルニア大学 サンディエゴ校に 共同研究拠点を設置

INFORMATION



笑顔で写真に収まるUCSD及び千葉大学の関係者

千葉大学は、最先端の粘膜炎免疫の理論・技術で世界屈指の研究者を有するカリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)と共同して、感染症・アレルギー・がん等の次世代型粘膜炎の開発を目指す研究センターを双方の大学内に設置しました。「病気にからない予防ワクチン(次世代型粘膜炎ワクチン)の開発に取り組み、10年後を目途に新治療薬の開発を目指します。

長谷川直孝さんが「電気科学技術奨励学生賞」を受賞

AWARD



賞状を手にする長谷川さん

大学院工学研究科博士前期課程電気電子系コース2年の長谷川直孝さんが、映像情報メディア学会からの推薦を受け、公益財団法人電気科学技術奨励会「電気科学技術奨励学生賞」を受賞しました。昨年12月に行われた国際会議での発表が対象となったもので、500件を超える発表の中から選出されたの受賞となりました。4月25日に授賞式が行われ、賞状と研究助成金が贈呈されました。

国際教養学部開設記念シンポジウム 「グローバル千葉大学の新生」を開催

EVENT



シンシナティ大学のサンタ・オノ学長に千葉大学名誉博士号が授与された

シンポジウムの様子

千葉大学では41年ぶりの新学部となる国際教養学部の開設を記念し、4月8日、西千葉キャンパスけやき会館でシンポジウムを開催しました。学内外から260人の参加がありました。国際教養学部は、千葉大学のグローバル化をすすめるパイロット学部としてこの4月に設置され、新入生90人を迎え、専任教員46人のほか、学びを支援する専門職(SULA)を含む職員等の体制でスタートしました。シンポジウムでは、小澤学部長からの開式の言葉に続き、徳久学長から挨拶があり、招待講演では本学と大学間協定を締結している米国・シンシナティ大学のサンタ・オノ学長から、教養教育の重要性についてお話いただきました。パネルディスカッションでは、熊谷千葉市長をはじめ、行政、企業、高等教育の専門家により「グローバル人材の資質」、「国際教養学部」に期待すること」などについて意見が交わされ、「国際教養学部は学生と一緒に未来を創っていくという形で学部を運営し、地域や企業と連携しながら良い人材を育成していきたい」という小澤学部長のことは締めくくられました。

学生・若手研究者のチャレンジを支え、未来を育てる 千葉大学 SEEDS 基金

千葉大学 SEEDS 基金は、ご寄附のもとに、学生の生活環境の整備、教育研究環境の整備、学生への奨学金の支援、国際交流事業の推進などを行っています。

次世代を担う若者がより良いキャンパスライフを送れるよう、ご支援・ご協力をお願いいたします。



奨学金・支援金の給付

学生を対象とした、経済的支援事業があります。

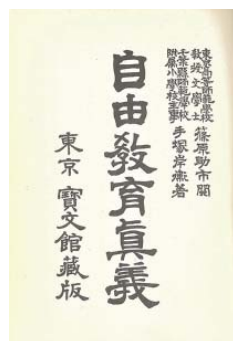


ホームページから寄附の申込みができます

詳しくは → <http://kikin.chiba-u.ac.jp>

千葉県師範学校による 最先端の「自由主義教育」

もっと
知りたい
千葉大学



手塚岸衛著「自由教育真義」(1922年)附属図書館蔵

1919年千葉県師範学校(教育学部)の前身の附属小学校に赴任した手塚岸衛は、教員の考えを画一的に押し付けるのではなく、子どもの考えを自由に発表させる等の「自由主義教育」を展開します。大正デモクラシーという思潮を背景に、県内外から大勢が授業見学を訪れ、社会的にも大きな影響を与えていきました。しかし、こうした実践は次第に批判を浴び、手塚が他校に転勤させられる中、この斬新な試みは終焉してしまいました。(国際教養学部 見城梯治)

協定等に基づく日本人学生留学者数、4年連続国立大学1位を獲得

GLOBAL



スキップワイズ短期留学プログラム(BOOT)

日本学生支援機構が3月に公表した、「平成26年度協定等に基づく日本人学生留学者数調査」によると、千葉大学の海外留学者数596人は、国立大学の中で4年連続第1位となりました。スパーグローバル大学創成支援事業にも選定されている本学では、将来グローバル人材として活躍できるような、様々な留学プログラムを用意して皆さんを応援しています。

卒業生がゲストハウス「洗心倶楽部」を寄付

INFORMATION



新たな交流の場として期待される「洗心倶楽部」

園芸学研究所は、同研究所の修了生である松坂喜一氏から、卒業生、短期留学生及び外国人来訪者等の宿泊施設や学生・教職員の集会所としての機能を備えたゲストハウス「洗心倶楽部」を寄付いただきました。かつての「洗心館」が老朽化と東日本大震災の被害を受けて取り壊され、「思い出の残る施設がなくなった」ことを知った松坂氏より寄付の申し出をいただき、建て替えが実現しました。

vol.36



I N D E X

- 02 特集 CAMPUS LIFE 2016
西千葉、亥鼻、松戸の3キャンパスの学生の日と
西千葉キャンパスお役立ち施設をご紹介します!
- 06 特集 国際教養学部 第1期生 座談会
気になる新学部のフレッシュな新1年生に
学部の雰囲気や将来の夢について話してもらいました。
- 08 千葉大学OBOGインタビュー
年間300万人以上が訪れる恩賜上野動物園の
土居利光園長にお話を伺いました。
- 10 TOPICS/もっと知りたい千葉大学